

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

吉川英治の小説『宮本武蔵』にこんなお話があります。剣豪である宮本武蔵はある時、槍の達人たちと勝負をしようとすさまじい殺気を放ちながら歩いていました。その途上で武蔵は畑仕事をしている老僧を目撃したのですが、武蔵はその老僧の視線が、じっと自分の足下を射ているように感じて、思わず九尺(約2・7メートル)も横を跳んで通ってしまいました。その後、武蔵は老僧本人から聞かされました。「武蔵が既に発していた殺気を感じた老僧は、それに対して心に武装をもったに過ぎず、武蔵が老人に感じた殺気は(1)武蔵自身の影法師であった」と。(2)「武蔵は自分の殺気に自分で飛び退いただけだ」というのです。僕は身につまされる思いがしました。(3)、僕の方に攻撃的な気持ちがあったせいで、相手も僕に攻撃的な態度を取ってきたという経験は僕にもあったからです。目の前の人の態度が攻撃的だと感じたときは自分が相手に対して攻撃的な態度を取っていないか反省しないといけません。(4)、こちらが相手に対して友好的な態度を取ること、相手からも友好的な態度を引き出せるということです。目の前にいる人は(5)鏡に映った自分のようなものです。

ア むしろ      イ 逆に考えれば      ウ なぜなら      エ あたかも      オ 要するに

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

数年前、ウミガメの鼻からプラスチック製のストローを10分近くかけて引っ張り出す動画が話題となりました。これを機にストローの廃止が世界的なムーブメントになりつつ



あります。

(6)

問題はストローに限ったことではありません。

(7)

死亡漂着

したウミガメを解剖するとお腹の中からスーパールの袋のようなプラスチックが何枚も出てくる可能性があります。

(8)

知っておいてほしいことがあります。私たちの生活の様々

な場面で利用されているプラスチックは、多くの場合、使い捨てられ処理されないまま環境中に流出し、ほとんどが最終的に海に行き着きます。このプラスチックは波や紫外線等の影響によって、やがて小さなプラスチックの粒子となります。5ミリメートル以下になったプラスチックは、マイクロプラスチックと呼ばれます。このマイクロプラスチックを食べた海の生物を魚が食べ、その魚を人間が食べてしまうことも充分にあり得る話なのです。マイクロプラスチックが人体に及ぼす影響については未知数ですが、(9) 気持ちの良い話でないことは間違いありません。私たち人類も地球上に生きる生物の一つです。(10) 、ウミガメに起こっている問題は私たちにも起こり得る問題なのです。単にウミガメがかわいそうだという問題ではないのです。

たとえば

キ けれども

ク 決して

ケ そうである以上

コ さらに